

日本病理学会近畿支部

病理 夏の学校 2026

不治の病に挑戦する

基礎 × 臨床 = 架け橋の病理学



プログラム



日時

2026年8月29日(土)
受付:12:30~



会場

近畿大学 大阪メディカルキャンパス
4号館(教育棟) 3階セミナー室
<https://www.kindai.ac.jp/medicine/about/map/>

対象 (参加無料)

医学部生・歯学部生・初期研修医

“病理学の魅力を
一緒に体験しよう!”

参加申込はこちらから

【申込締切】
8月24日(月)
午後3時



参加をお待ちしております



13:00 開会のあいさつ

ようこそ! 病理・夏の学校2026へ



司会: 穴戸-原 由紀子 先生
(近畿大学病院 病理診断科)

13:10

第1部 病理解剖の目的と意義

司会: 穴戸-原 由紀子 先生
(近畿大学病院 病理診断科)

◆ 病理医として、病理解剖を通じた
患者・社会とのつながり

司会: 安原 裕美子 先生
(堺市立総合医療センター 病理診断科)

13:45

第2部 私が病理学を選んだ理由

司会: 若狭 朋子 先生
(近畿大学奈良病院 病理診断科)

◆ 免疫学(基礎医学)から
病理学(臨床医学?)へ

司会: 栗原 一彦 先生
(近畿大学医学部 病理学講座)

◆ 循環器内科医から病理医への転身

司会: 雨宮 妃 先生
(国立循環器病研究センター)

14:45

若手病理医からのメッセージ



司会: 穴戸-原 由紀子 先生
(近畿大学病院 病理診断科)

◆ 病理専門医試験 傾向と対策

司会: 合田 ゆう子 先生
(近畿大学 病理診断科)

◆ なんでも質問コーナー

回答者: 若手病理医全員

15:30

第3部 基礎と臨床を繋ぐ病理学

司会: 伊藤 彰彦 先生
(近畿大学医学部病理学講座)

◆ 形態からゲノムへ、
そしてエピゲノムへ。
- 病理診断はどこへ向かうのか? -

司会: 里見 介史 先生
(杏林大学医学部 病理学教室)

16:10 閉会のあいさつ

伊藤 彰彦 先生 (近畿大学医学部 病理学講座)

16:30 全体懇親会・参加費無料

(近畿支部・各大学のプレゼン)



企画: 近畿大学病院 病理診断科
問合せ先: 日本病理学会近畿支部事務局
kinpatho@narmed-u.ac.jp